

できるだけ早く除雪をするために

盛岡南部地区の除雪ステーションを新築中

盛岡地方振興局土木部

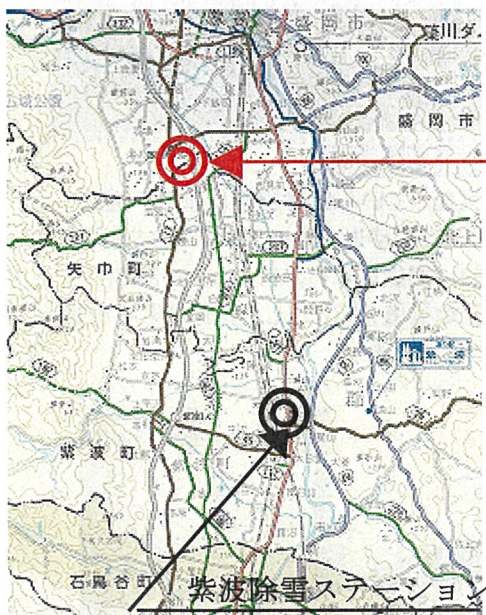
現在、盛岡地方振興局管内南部エリア、盛岡南部地区（旧都南村）、矢巾町、紫波町の県が管理する国道や県道の除雪作業は、「紫波除雪ステーション」（紫波町日詰）で行っています。

しかし、盛岡南部地域への早期除雪対応の遅れが課題となっていること、施設の老朽化が進んでいること、そして借用している町施設の早期返却を求められていることから、新たな除雪ステーションの整備について検討を進めてきました。

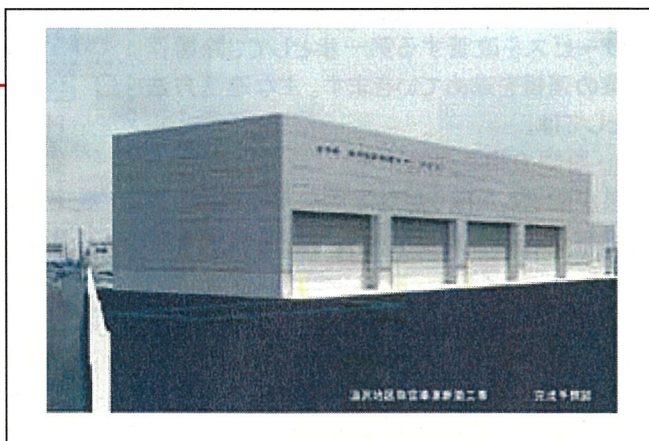
そこで、新たな除雪ステーション「湯沢除雪ステーション」を、主要地方道上米内湯沢線と主要地方道盛岡和賀線の交差点部に建設中です。ステーションは、平成 19 年の冬から稼働する予定。敷地面積 2,620㎡、建物面積 686㎡（格納庫 602㎡、事務室 84㎡）のステーションは、除雪グレーダー 6 台、凍結防止材散布車 2 台が格納できる規模です。

その立地条件の良さから、盛岡南インターチェンジへのアクセス道路や流通センターと北上市の工業団地を結ぶ重要な物流道路の早期除雪体制の大幅な強化が図られることとなり、救急医療患者や物流輸送等への支援、通勤・通学路等の確保が期待できます。

また、工事にあたっては、交差点改良事業により発生した旧道の敷地を有効活用しましたので、用地費及び用地造成費も不要となり大幅なコスト縮減にも努めています。



湯沢除雪ステーション完成予想図



問い合わせ先
盛岡地方振興局土木部
道路環境課
TEL 019-629-6647